

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
Please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

⑫ Int. Cl. 4	識別記号	庁内整理番号	⑬ 公開 昭和63年(1988)9月12日
B 65 D 43/16	1 0 1	6727-3E	
45/16		6727-3E	
// B 65 D 85/00	3 1 1	7405-3E	審査請求 有 (全3頁)

⑭ 考案の名称 ケース

⑮ 実 願 昭62-28929

⑯ 出 願 昭62(1987)2月27日

⑰ 考 案 者 川 手 正 一 郎 東京都練馬区早宮1丁目44番10号

⑱ 出 願 人 ニッソー株式会社 東京都千代田区外神田4丁目5番4号 亀松ビル

⑲ 代 理 人 弁理士 杉 山 泰 三

⑳ 実用新案登録請求の範囲

相互に嵌合可能な底枠体と蓋枠体が嵌合した状態で対面する夫々の枠体の内壁面と外壁面に相互に係合する凸部又は凹部と凹部又は凸部を夫々設けたことを特徴とするケース。

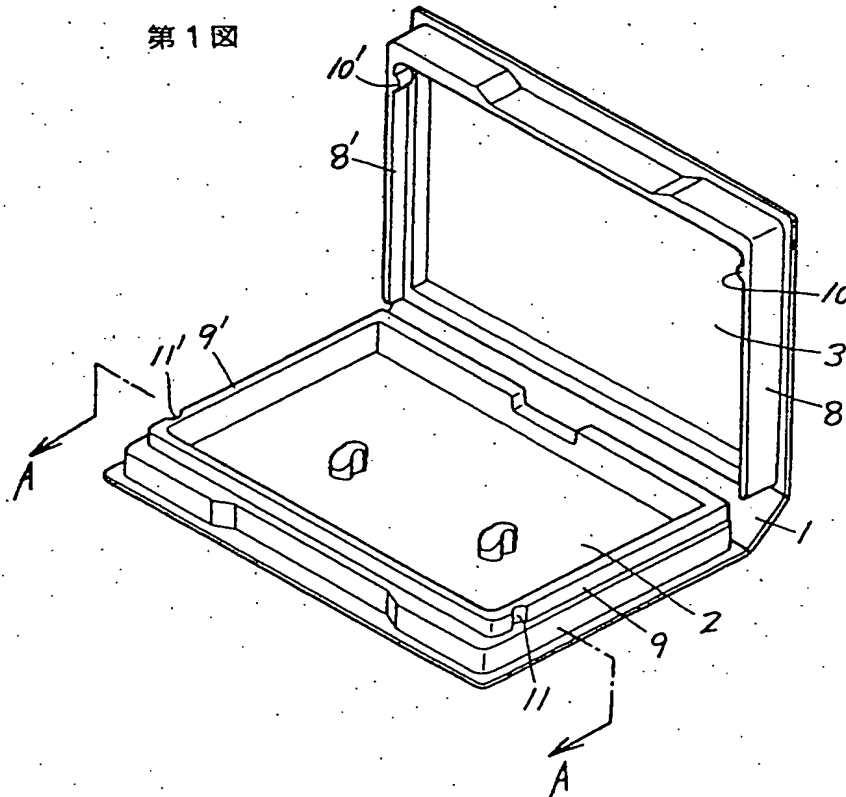
図面の簡単な説明

図は本考案ケースの実施例を示すものであつて、第1図は全体の斜視図、第2図は全体の分解

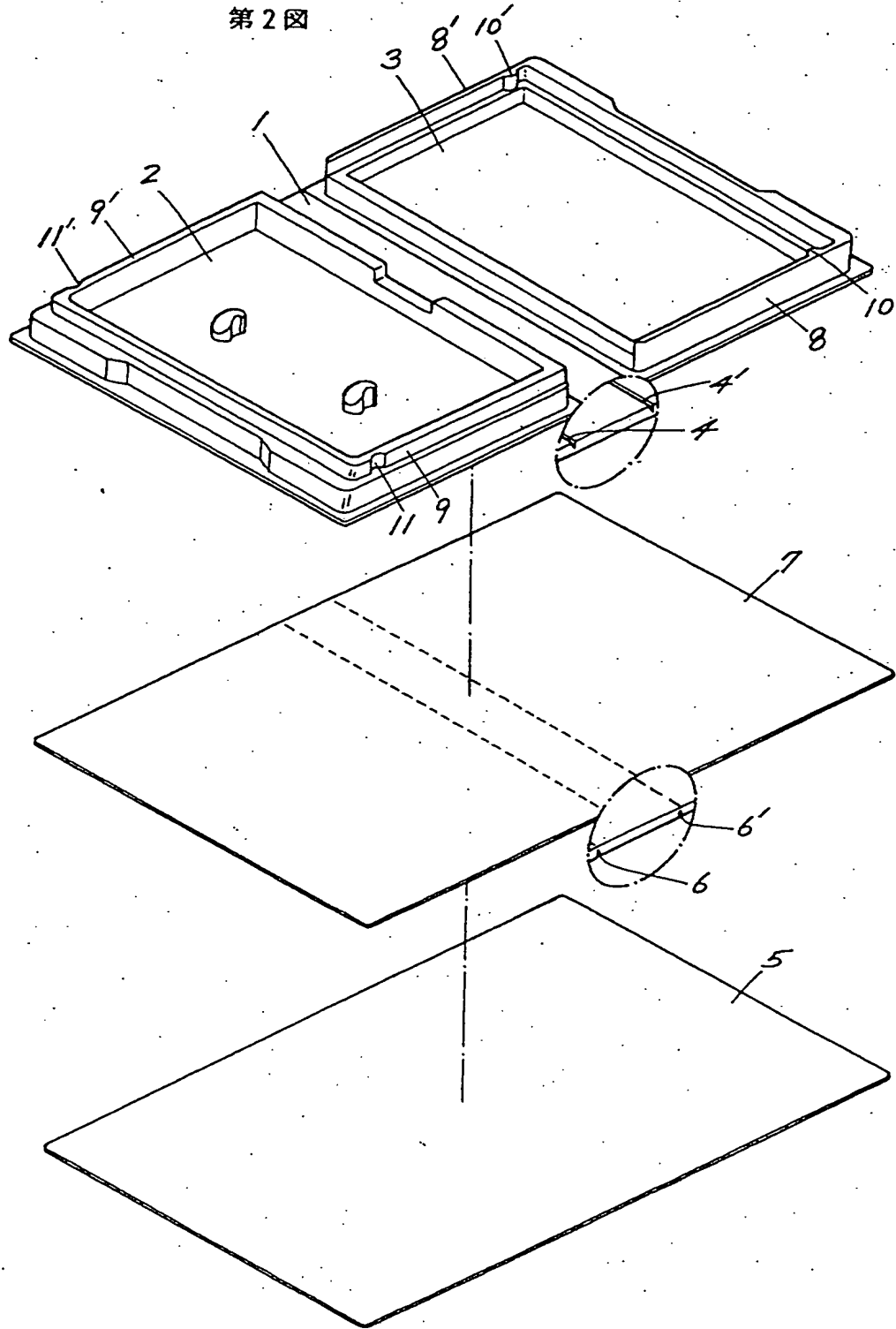
斜視図、第3図は要部の第1図A-A線に沿う断面拡大図である。

1……連結部、2……底枠体、3……蓋枠体、4, 4'……筋目、5……外面シート、6, 6'……筋目、7……硬質芯板、8, 8'……蓋枠体の横側壁、9, 9'……底枠体の横側壁、10, 10'……凸部、11, 11'……凹部。

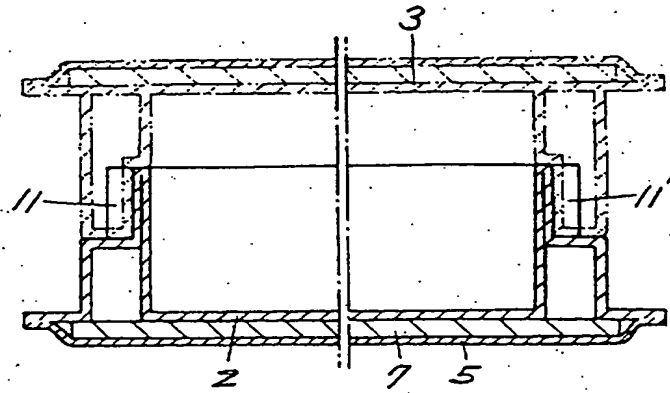
第1図



第2図



第3図



公開実用 昭和63- 137748

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭63-137748

⑮ Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	⑯ 公開 昭和63年(1988)9月12日
B 65 D 43/16	1 0 1	6727-3E	
45/16		6727-3E	
// B 65 D 85/00	3 1 1	7405-3E	審査請求 有 (全 頁)

⑰ 考案の名称 ケース

⑱ 実 願 昭62-28929

⑲ 出 願 昭62(1987)2月27日

⑳ 考 案 者 川 手 正 一 郎 東京都練馬区早宮1丁目44番10号

㉑ 出 願 人 ニ ッ セ ー 株 式 会 社 東京都千代田区外神田4丁目5番4号 亀松ビル

㉒ 代 理 人 弁 理 士 杉 山 泰 三

明 細 書

考 案 の 名 称 ケ ー ス

実 用 新 案 登 録 請 求 の 範 囲

相互に嵌合可能な底枠体と蓋枠体が嵌合した状態で対面する夫々の枠体の内壁面と外壁面に相互に係合する凸部又は凹部と凹部又は凸部を夫々設けたことを特徴とするケース。

考 案 の 詳 細 な 説 明

(産 業 上 の 利 用 分 野)

本考案は主としてカセットテープ、ビデオテープなどをパックするケースに関する。

(従 来 の 技 術)

この種のケースに於ては、従来、二枚の硬質

(1)

合成樹脂板を別個に圧絞して相互に嵌合可能な底枠体及び蓋枠体を構成し、これらの各内側縁を軟質合成樹脂製の間部材の両側縁に溶着したのちこれら三者の下面に硬質芯板を当接し、更にこの硬質芯板の外面に軟質合成樹脂製外面シートを配してこの外面シートの全周縁を底枠体、蓋枠体及び間部材の外周縁に溶着する構成がとられていた。

(考案が解決しようとする問題点)

従つて従来はこの種ケースには、底枠体と蓋枠体とを別個に圧絞成形したり、両者の内側縁を軟質合成樹脂シート製の間部材の両側縁に溶着して連結するなどの煩瑣な工程を必要とするのみならず、この間部材はその材質上、ケースの背部を外圧に充分に耐え得るよう堅牢な

ものとすることができず、従つて底枠体と蓋枠体が嵌合状態にありながらも外圧を受けた場合には互いにずれて動く弊があつた。

本考案はかかる問題点の解決を目的とする。

(問題点を解決するための手段)

上記の問題点を解決するために案出された本考案ケースは、相互に嵌合可能な底枠体と蓋枠体が嵌合した状態で対面する夫々の枠体の内壁面と外壁面に相互に係合する凸部又は凹部と凹部又は凸部を夫々設けたことを特徴として構成されるものである。

(実施例)

図示した実施例は、一枚の硬質合成樹脂板を圧接し所要幅の連結部(1)を介在させて対設した相互に嵌合可能な底枠体(2)及び蓋枠体(3)と、こ

(3)

れら底枠体(2)及び蓋枠体(3)と連結部(1)間断面V字状の折曲用の筋目(4)(4)'と、この底枠体(2)、連結部(1)及び蓋枠体(3)の外周全体に配されその全周縁を底枠体(2)、連結部(1)及び蓋枠体(3)の外周縁に溶着された一枚の軟質合成樹脂製外面シート(5)と、これら底枠体(2)、連結部(1)及び蓋枠体(3)と外面シート(5)との間に介在し且つ外側において底枠体(2)及び蓋枠体(3)と連結部(1)間の折曲用の筋目(4)(4)'と対応する個所に同様の折曲用の筋目(6)(6)'を形成した硬質芯板(7)と、蓋枠体(3)及び底枠体(2)が相互に嵌合した状態で対面する蓋枠体(3)の両横側壁(8)(8)'の内壁面における角部近傍位置と底枠体(2)の両横側壁(9)(9)'の外壁面における角部近傍位置とに夫々設けられた相互に係合する凸部(10)(10)'と凹部(11)(11)'とを

有するように構成されたビデオテープバック用のケースを示すものである。

尚、底枠体(2)及び蓋枠体(3)と連結部(1)間の折曲用の筋目(4)(4)'はその両端がこれらの外縁に臨まないように僅かに内方寄りの個所に位置させると底枠体(2)及び蓋枠体(3)の折曲を繰り返しても筋目の端部より裂目が入るような虞れを回避することができる。

(考案の作用及び効果)

本考案のケースは底枠体と蓋枠体が嵌合した状態で対面する夫々の枠体の内壁面と外壁面とに夫々設けた凸部又は凹部と凹部又は凸部とが互いに係合するので、たとえ底枠体と蓋枠体とを連結する背部構造が堅牢でなくとも外圧によつて底枠体と蓋枠体とがずれて動く弊を解消す

る効果がある。又、実施例の如き構造となせば
背部構造が堅牢化するのでより効果は顕著であ
る。

図面の簡単な説明

図は本考案ケースの実施例を示すものであつ
て、第1図は全体の斜視図、第2図は全体の分
解斜視図、第3図は要部の第1図A-A線に沿
う断面拡大図である。

(1) … 連結部、(2) … 底枠体、(3) … 蓋枠体、(4)(4)'
… 筋目、(5) … 外面シート、(6)(6)' … 筋目、(7) …
硬質芯板、(8)(8)' … 蓋枠体の横側壁、(9)(9)' …
底枠体の横側壁、(10)(10)' … 凸部、(11)(11)' … 凹部。

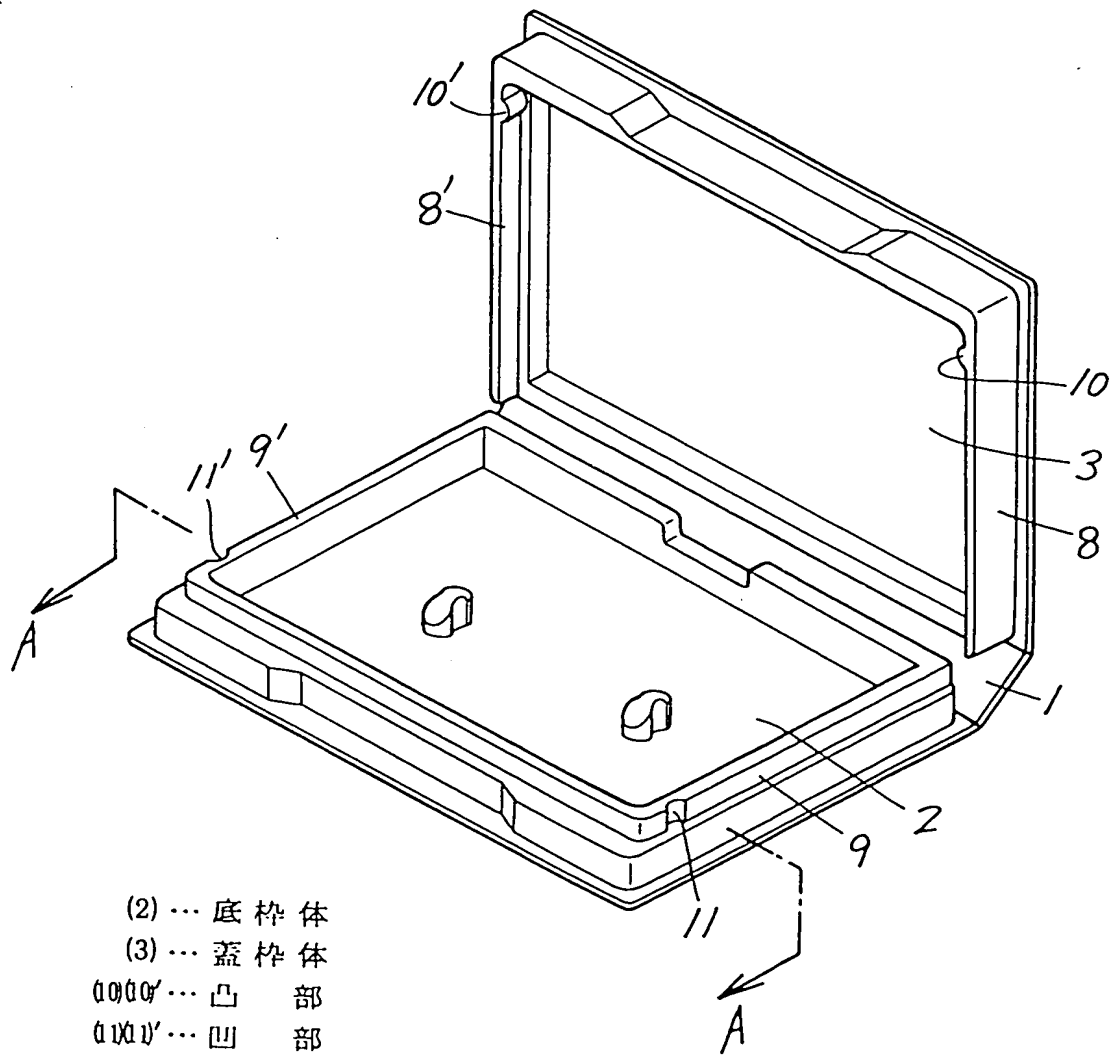
実用新案登録出願人 ニッセー株式会社

代理人 弁理士 杉 山 泰 三



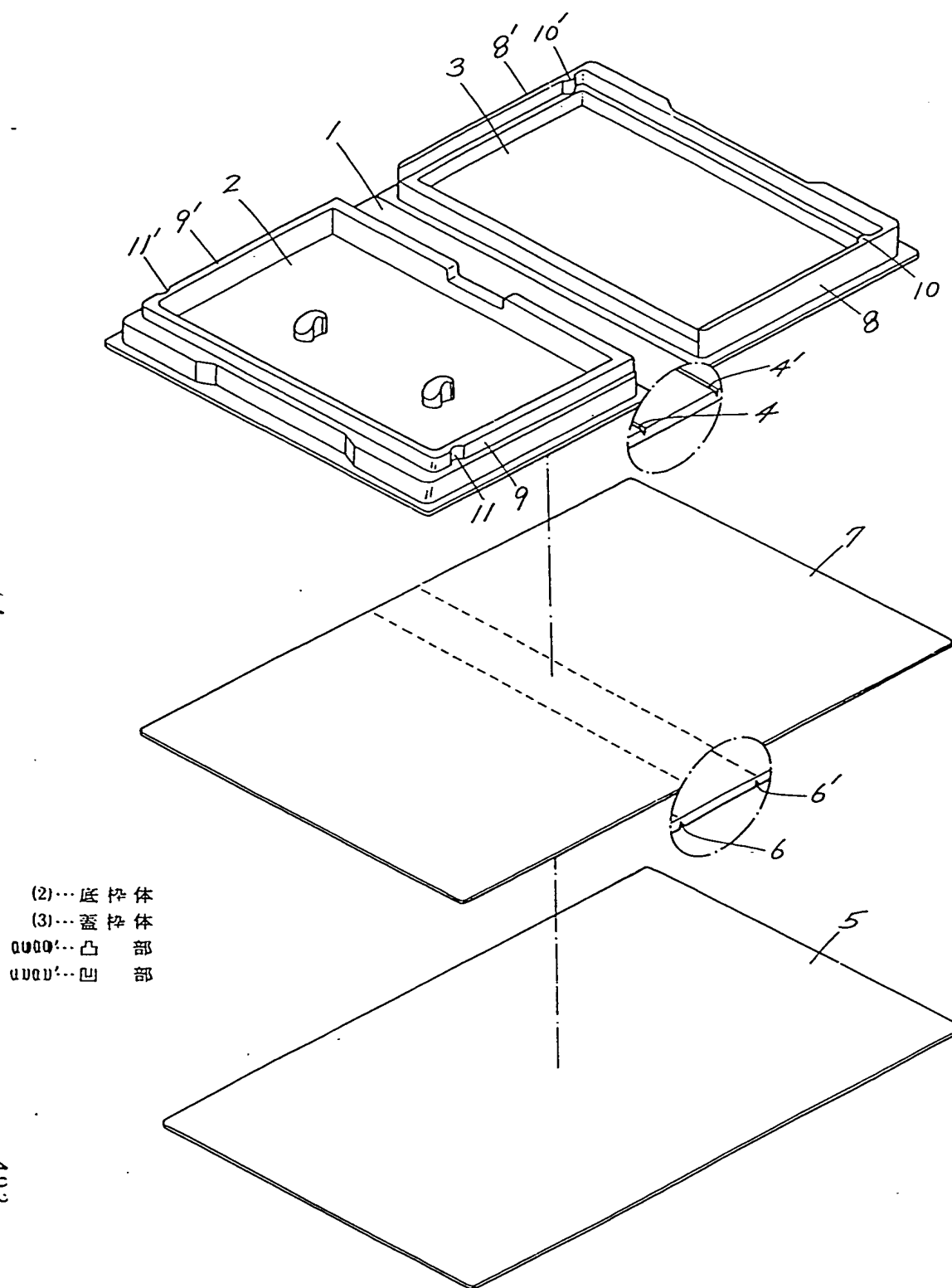
(6)

第 1 図



- (2) … 底 枠 体
- (3) … 蓋 枠 体
- 10 10' … 凸 部
- 11 11' … 凹 部

第 2 図



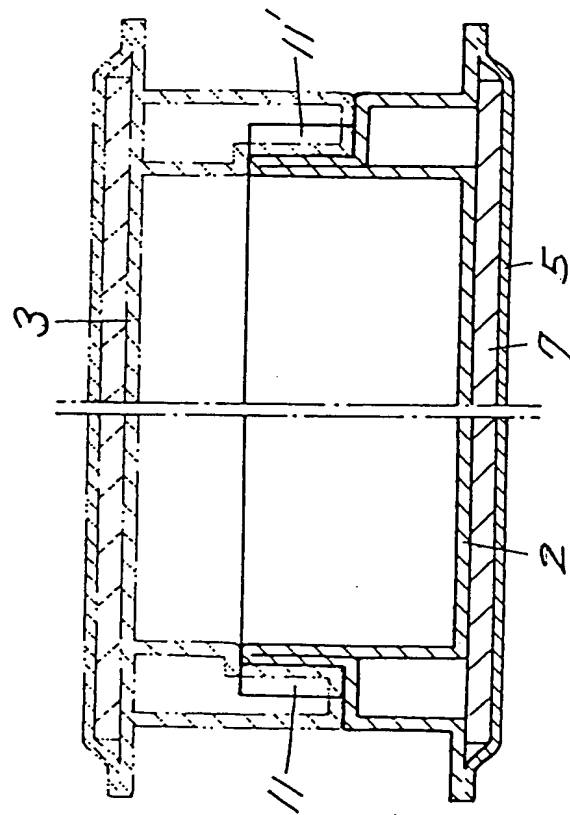


図 3 第 3

社

